

【通報訓練の例】

- 1 事業所関係者間で役割分担し、「消防役」の人員を配置する。
- 2 119番を発信する動作をみなしで行う。(実際に発信はしない。)
- 3 「消防役」と「通報者役」が口頭で119番通報のやり取りを実施する。

【やり取りの例】

通報者役：みなしで119番を発信する動作を行う。

消防役：「119番消防です。火事ですか、救急車ですか？」

通報者役：「火事です。」

消防役：「わかりました。消防車を向かわせる住所を教えてください。」

通報者役：「〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号、〇〇〇（建物名称）です。」

消防役：「あなたは今、安全なところから通報していますか？」

通報者役：「はい。」

消防役：「どこで何が燃えていますか？」

通報者役：「調理室のガスコンロが燃えています。」

消防役：「建物は何階建てで、調理室は何階にありますか？」

通報者役：「建物は2階建てで、調理室は1階にあります。」

消防役：「逃げ遅れや怪我をしている方はいますか？」

通報者役：「いません。」

消防役：「隣の建物に燃え移りそうな可能性はありますか？」

通報者役：「はい、あります。」

消防役：「建物内や付近に危険物はありませんか？」

通報者役：「外に灯油のホームタンクがあります。」

消防役：「最後にあなたのお名前を教えてください。」

通報者役：「〇〇〇〇です。」

消防役：「わかりました。消防車はもう向かっています。到着したら情報提供をお願いします。」

通報者役：「わかりました。」

消防役：「それでは電話を切って、安全な場所で待機して下さい。」